

令和 7 年度「数学概論」について

令和 7 年度数学概論（火曜 3・4 時限，水曜 3・4 時限，先端研 404N 教室）を以下の要領で開講します。

数学概論の目的

この講義では、現代数学の研究の傾向に触れることを目的として、幅広い分野の話題について、入門から先端的なトピックスまで分かりやすく解説する。各人の目指している専門外の分野についても、現在の研究状況を知ることが、数学的な視野を広げ、将来の研究を進める上でもきわめて重要なことである。

講義日程

6 月 10 日（火）：	滝本 和広	ガイダンス
6 月 11 日（水）：	島田 伊知朗	「命題論理のコンパクト性定理とその応用 (1)」
6 月 17 日（火）：	島田 伊知朗	「命題論理のコンパクト性定理とその応用 (2)」
6 月 18 日（水）：	島田 伊知朗	「命題論理のコンパクト性定理とその応用 (3)」
6 月 24 日（火）：	澁谷 一博	「微分幾何学と制御理論 (1)」
6 月 25 日（水）：	澁谷 一博	「微分幾何学と制御理論 (2)」
7 月 1 日（火）：	小鳥居 祐香	「結び目と基本群 (1)」
7 月 2 日（水）：	小鳥居 祐香	「結び目と基本群 (2)」
7 月 8 日（火）：	岡本 葵	「二項分布の正規近似 (1)」
7 月 9 日（水）：	岡本 葵	「二項分布の正規近似 (2)」
7 月 15 日（火）：	内藤 雄基	「不動点定理とその応用 (1)」
7 月 16 日（水）：	内藤 雄基	「不動点定理とその応用 (2)」
7 月 22 日（火）：	石原 海	「3 次元多様体のヒーガード分解 (1)」
7 月 23 日（水）：	石原 海	「3 次元多様体のヒーガード分解 (2)」
7 月 29 日（火）：	（予備日）	
7 月 30 日（水）：	博士課程後期修了者によるキャリアパス講演会	

注意と連絡先

本講義は Moodle を活用します。講義資料は Moodle に置かれる場合があります。また、数学概論に関する情報は、もみじ掲示板や Moodle に掲載しますので注意しておいてください。

第 1 回は取りまとめ役（滝本）によるガイダンスが主な目的です。第 2 回以降、6 名の教員が各 2 コマまたは 3 コマずつ講義を行います。日程の変更がある可能性があります。その場合はもみじ掲示や Moodle などを通じて連絡します。最終回（7 月 30 日）は博士課程後期修了者によるキャリアパス講演会が行われます。

やむを得ず講義・講演会を欠席・遅刻・早退する（した）場合は、講義担当者および取りまとめ役（滝本）の両方に連絡して下さい。各教員のメールアドレスは下記の通りです。

島田 伊知朗	ichiro-shimada@hiroshima-u.ac.jp
澁谷 一博	shibuya@hiroshima-u.ac.jp
小鳥居 祐香	kotorii@hiroshima-u.ac.jp
岡本 葵	mokamoto@hiroshima-u.ac.jp
内藤 雄基	yunaito@hiroshima-u.ac.jp
石原 海	xishihar@hiroshima-u.ac.jp
滝本 和広	ktakimoto@hiroshima-u.ac.jp（取りまとめ役・講演会担当）

講義やレポートの内容に関する質問は講義担当者に、数学概論全般に関する質問は取りまとめ役（滝本）に連絡してください。

成績

各担当教員が課すレポート課題の採点結果を元にした評価（100 点満点）に、平常点（ガイダンス・講演会）を加味して成績を付けます。取りまとめ役以外の担当教員 6 人の成績のうち**上位 5 つを成績評価の対象**とします。なお、レポートを提出しなかった分については 0 点と評価します。

レポート

レポートの提出締切および提出方法については、各担当教員の指示に従ってください。**締切厳守**です。ただし、特別な理由があれば考慮される場合もあるので、時をおかずに講義担当者および取りまとめ役（滝本）の両方に必ず連絡してください。

下記の条件が満たされていないレポートは評価の対象外となる可能性があります。

- レポート作成者の**学生番号・氏名・どの教員に対するレポートであるかを明記した表紙**を付けてください。
- 紙媒体で提出する場合は、必ず **A4 サイズの用紙**を使用し、左上をホッチキス等で**しっかり綴じて**ください。
- Moodle で提出する場合は、必ず**単一の PDF ファイル**で提出してください。また、ファイル名は「**学生番号+提出先教員の名字.pdf**」としてください。例えば、学生番号 M123456 の学生が澁谷先生に提出するレポートのファイル名は M123456澁谷.pdf または M123456Shibuya.pdf となります。
- その他、講義担当者の指示に従ってください。

なお、他人のレポートをほぼ丸写ししたと思われるものは（写したレポート、写されたレポート双方を）不提出扱いとします。